

ギニア月報(2019年12月)

主な出来事

【内政】

●19日、コンデ大統領が新憲法案を発表。市民社会団体、野党は強く反発。

【外政】

●9—13日、ジョナサン前ナイジェリア大統領及びソグロ元ベナン大統領が当地を訪問し、憲法改正や大統領選挙等に関して、与党、野党、市民社会、外交団と意見交換を行った。

【経済(経済協力含む)】

●3日、国民議会において2020年度予算が成立(21,706,219,816,000ギニアフラン)。

●10日、「経済社会開発計画(PNDES)2016—2020」の2018年における成果が発表。2018年は、90億ドルが、特に母子保健、水、電力の分野に用いられた。

1 内政

- ・ 5日、野党は選挙人名簿の中に多数の未成年者が含まれている旨述べ、選挙人登録作業の即時中断を要求。
- ・ 6日、2018年2月に実施された地方選挙の結果に関する与野党間の協議が再開。
- ・ 6日、過去のデモ犠牲者の埋葬行進が実施され、一部が暴徒化し、警察官の私用車を襲撃した。
- ・ 12日、独立選挙管理委員会(CENI)は、国民議会選挙の立候補者受付方法に関するコミュニケーションを発表。
- ・ 18日、野党選出の選挙管理委員7名が、選挙人登録作業が不正でありプロセスに透明性がないとして、今後のCENIの活動には関与しないが、辞任はしない旨表明。
- ・ 19日、コンデ大統領が新憲法案を発表。市民社会団体、野党は強く反発した。
- ・ 31日、市民社会団体の護憲国民戦線(FNDC)のメンバーである野党は、2月16日の国民議会選挙への参加条件を表明。監査報告の助言に従った有権者リストの作成、選挙法及び地方自治体法に従った2018年2月4日に実施した選挙プロセスの完遂、有能で中立、独立かつ公平性を保って委員会を指導できる独立選挙委員会(CENI)長の選出、コンデ大統領の三選を目指す計画の最終かつ公式な放棄、の4点が要求されている。

2 外政

- ・ 3—4日、ラマポーザ南アフリカ大統領は当地を訪問した、ディアネ国防大臣はンカクワ南アフリカ国防大臣と、軍事及び安全保障、テロとの戦いに関する協力強化について話し合った。
- ・ 9—13日、ジョナサン前ナイジェリア大統領及びソグロ元ベナン大統領が当地を訪問し、憲法改正や大統領選挙等に関し、与党、野党、市民社会、外交団と意見交換を実施した。

- ・ 20日、コンデ大統領は第56回 ECOWAS 首脳会議に出席するため、ナイジェリアのアブジャを訪問した。

3 経済(経済協力含む)

- ・ 2日、ボケで若者が停電に抗議するデモを実施し、市内が混乱した。ボケには経済特区があり、15社程の鉱山及び物流企業が進出している。
- ・ 3日、国民議会において2020年度予算が成立(21,706219,816,000ギニアフラン)。2019年予算は19,332,076,542,000ギニアフランであったため、前年度比+9.53%となった。財政収入の打分けは、税収が94,640億ギニアフラン、国庫金が11,600億ギニアフラン、関税が80,880億ギニアフランである。2020年は、経済成長が6.3%、為替レートが1米ドル=9,225ギニアフラン、財政赤字は-3.4%になると予想されている。
- ・ 3日、第3回ギニア・トルコ合同会議がコナクリで開催され、セルチュク・トルコ国民教育大臣とケイタ協カアフリカ統合大臣が共同で議長を務め、職業教育に関する18件のプロジェクトや研修に関する協力について議論された。
- ・ 10日、「経済社会開発計画(PNDES)2016-2020」の2018年における成果が発表された。PNDES は、2017年にパリで開催されたギニアGC会合(Réunion du Groupe Consultatif)にてコンデ大統領が発表し、675件のプロジェクトに対し、210億7,000万ドルの支援をドナーから得る計画である。2018年は、90億ドルが特に母子保健、水、電力の分野に用いられた。
- ・ 26日、中部ギニアテリメレ県ダラマグナキ(Daramagnaki)の住民がボーキサイトを採掘している中国のCDM henan 社が環境基準を守っていないとして、1週間デモを行い、3名が逮捕された。

(了)